

【暑さに注意を】

いつまで続くのだろうかと思うほどに毎日が暑いですね。体調管理の難しさも感じますが、皆さまご自愛ください。

そんな暑さの中ですが、「二十四節気」では、すでに大暑（今年は7月23日）を過ぎました。

今週火曜日（8月8日）は「立秋」を迎えます。立秋とは、「夏が全盛期を迎えて秋の気配が徐々に立ち始める日」だそうです。

これからお盆休みに向かい夏休みの季節はこれからが盛んです。近年は10月頃まで残暑が続きますから、立秋と言われても「どこに秋が？」と思わずにはいられません。

けれども、日の出も夏至の頃に比べると30分近く遅くなっていて、少しづつ日は短くなっています。人間の目には気づきづらくても、季節は移ろっています。

信仰の世界も同じかもしれません。どこに神の御業があるの？と思えるところにも実は神様の御手は働いています。そうした静かに働く神の御手の業を捕らえる信仰の目を持ちたいですね。

とは言え、暑さにはまだまだご注意ください。

【礼拝賛美】鹿のように

(2回くりかえし)

谷川の流れを慕う鹿のように  
主よわが魂 あなたを慕う  
あなたこそ わが盾  
あなたこそ わが力  
あなたこそ わが望み  
われは主を仰ぐ

「幸いなことよ。悪しき者のはかりごに歩まず、罪人の道に立たず、嘲る者の座に着かなかった者」  
詩篇 一篇一節

クリスチャンの聖言と霊感を学べる聖書の箇所は詩篇だと思ひ、今回は第一篇の聖言に仕えたい。第一篇は、詩篇全体の序曲である。今朝は「幸いなことよ」から四つの点を取り上げたい。

第一は、神との純粋な関係である。K師によると、「これは、ヘブル語の『アシュレレー（真つすぐに歩く）』で真の幸いは『神に向かつて真つすぐに歩くことである』。古い英語訳は「ブレンッド」(Blessed=恵まれた、きよめられた、神聖な)きよらかで汚れのないの意)で始まる。T師は「一節は、生活、思想、交友に純潔であることである」と言っている。

第二は、その内容が、「罪」の問題である。

悪しき者は「何をする者」か。「歩む、立つ、座に着く」の各々が神との関係を阻害しているのが「罪」である。「罪は、神のみこころの代わりに、人間の意志を生涯の中心に据えることである。諸国の民の反逆は、個々の靈魂の罪の絵画である」とは沈思に値する。

第三は、幸いな人とされたダビデに見る彼の体験から。詩篇五一篇は、ダビデのバテ・シエバとの罪を第二サムエル十一、十二章に見る。ダビデの二重の罪。行為の罪の赦しを求める祈りと、行為の源にある罪の性質に気づいた祈りである。その結果を三二

篇の告白的賛歌に見る。

第四は、新約の意義と証し。パウロは、ローマ四章にダビデの「幸い」の箇所を引用している。ローマ三―五章に信仰による義認(赦し)と、六―八章に信仰による聖化(潔め)を体験に基づく内容を記している。「聖徒のうちで最も小さく、無学な凡人」の私にも同じ道程を歩ませてくださった。

罪の赦しの後に心中に宿る罪の性質に悩み、やっとローマ七章二五節「私たちの主イエス・キリストを通して(原意=十字架の贖いの媒介のゆえに) 神に感謝します」。ローマ八章一―十一節の聖言に安んずることを得た。

赦される罪、潔められるべき罪を理解し解決ができるとき、一篇二節は御霊による霊魂の深化と共に聖言の人格化に近づける

**8月6日聖日礼拝**

第1礼拝 9時 荻野牧師 荻野し兄  
第2礼拝 11時 荻野牧師 高橋美姉

招 詞 ゼカリヤ書2章13節

会衆賛美 聖歌631

会衆賛美 鹿のように(2回)

(歌詞は週報4面に掲載)

主の祈り

交 読 詩篇32篇1〜11節

礼拝祈祷

使徒信条

聖書朗読 詩篇1篇1〜6節

説 教 幸いなことよ

田中英師

会衆賛美 聖歌243

献 金

頌 栄 聖歌376

祝 祷

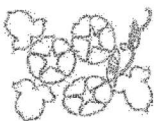
報告

後奏 感謝祈祷

**【招 詞(主の招きのことば)】**

ゼカリヤ書2章13節

「すべての肉なる者よ、主の前で  
静まれ。主が聖なる御住まいから  
立ち上がられるからだ。」  
アーメン



**【本日の予定】**

■会堂清掃 第1・第2礼拝終了後

■小学科ホザナ礼拝 3階 11時

お話し

■バイブルカフェ

談話室 12時15分〜

担当

■教育部会 牧師室 13時半〜

**【本日の礼拝奉仕者】**

■第1礼拝

礼拝祈祷 司会者

聖書朗読 司会者

献金1階 司会者

献金祈祷 司会者

報告 司会者

受付 司会者

配信 配信チーム

■第2礼拝

礼拝祈祷

聖書朗読

献金1階

1階

2階

献金祈祷

報告 司会者

会場

受付

**【次週の礼拝】**

〔説教者〕 荻野牧師

〔聖書箇所〕 テサロニケ第一

1章1〜10節

〔説教題〕 主の再臨を

待ち望む教会

**【お祈りください】**

\*8/22(火)〜23(水)

第65回霊修会

会場 YMC A 東山荘 (御殿場)

講師 林正弘 師

インマヌエル綜合伝道団

船橋教会主任牧師、聖宣神学院院長

**〔YMC A 東山荘の紹介〕**

東山荘は今を遡ること100年以上前、1925年(大正4年)に学生YMC Aの夏季学校のための施設として開設されました。設計は、ウイリアム・ヴォーリズ師。その後も多くの宣教師や日本人クリスチャンによって支えられて活動が展開します。第二次大戦後に来日したティーン・リーダーはかの洞爺丸号で遭難しています。

今回の霊修会で主会場となる1号館・斎藤記念館は1965年に竣工。豊かな自然に囲まれたYMC Aの歴史が漂う場所で聖会をおこないます。1号館の裏にあるのは黙想館。1975年に竣工した小さなチャペルは正面に富士山を望み、天地を造られた主に静かに想いを向けるのに最高の場所です。日中は誰でも入室ができます。

\*8/25(金)〜26(土)

小学科キャンプ(蒲田・茅ヶ崎連合)

会場 箱根高原ホテル

先日は茅ヶ崎シオンと合同の打ち合わせ会をオンラインでおこないました。4年ぶりのキャンプでスタップも試行錯誤しながらの準備です。会場の箱根高原ホテルは、かつて

霊修会の会場として使用した施設です。小学科キャンプとしては初めて使います。最善の準備をおこなえるようにお祈りください。

**【今後の予定】**

\*聖餐式

8月13日(日)

\*創立89周年記念礼拝

9月3日(日)

第1礼拝、第2礼拝共に行います。

今年も創立記念の季節を迎えます。ここまで導いてくださった主に共に感謝をささげましょう。

\*聖餐式

9月10日(日)

・ホザナキャンプのためにお祈りくださりありがとうございます。  
詳しい報告は次週の週報に掲載の予定です。  
・暑さが続きます。  
お互いの健康が支えられるように祈りましょう。  
特に、ご高齢者やお体を弱めておられる方々に主の助けがあるように祈りましょう。  
また、夏休み中の子どもたちが事故や過ちから守られるようにも祈りましょう。